

## 中途退団抑止策について

新藤 信夫

日本のスカウト登録加盟員数は、昭和58年の33万人をピークに年々減少して、平成30年度には10万人レベルになってしまいました。**新規加盟員は毎年1万人強加入しておりますが、退団するスカウトが1万6-7千人もあり、**差し引き6-7千人減少しております。その要因は、下に示す通り多々ありますが、加入して間もないスカウトたちが多数辞めていくということは、**新規隊員を受入れたスカウト関係者、特にスカウトたちと接触の多い指導者に問題が多いことが考えられます。**その要因をしっかりと分析をして対策をしていかない限りこの傾向は収まらないと思います。スカウト関係者の危機感を持った取組みをお願いしたいと思います。**(群馬の退団率は特に多い)**

\* 以下の資料は、日本連盟の中途退団抑止特別委員会(贈師功委員長)が作成したものを抜粋、活用しました。

### 1、スカウトの退団要因は。

プログラムが面白くない、隊長が嫌い、部活等が忙しい、塾で勉強がしたい、経済事情(費用)が許さない等がある。

#### 1、指導者関係の不満事項【33%】

- ①、指導者の高齢化で活動が沈滞化(若手指導者確保)
- ②、指導者の力量不足【資質低下&自身不足】
- ③、LT・コミッショナーなどレベル低下⇒指導者資質低下

#### 2、隊運営やプログラムの展開不備【34%】(リーダー会議)

- ①、正しいスカウト教育が行われていない。
- ②、プログラムのマンネリ化(インドア⇒アウトドアへ)
- ③、基本原則が守れてない【班制度・進歩制の未活用】

#### 3、団運営のマネージメントが不備【33%】(団委員会開催)

- ①、マーケティングなどの認知度不足(会員拡充など)
- ②、関係者たちとのコミュニケーション不足(保護者など)
- ③、加入スカウトの**成果が見えず将来に期待できない。**
- ④、地域連携ができていない、保護者の活用がないなど

### 2、退団検討でこんな意見も

- 1、班制度が充実すると退団者が減少する
- 2、進歩が進展すると退団者が減る。  
【1級、菊、隼、富士スカウトの取得強化】
- 3、絶対評価で退団者が減る(相対評価で枠を決めない)
- 4、休隊制度創設で退団者が減るとの意見あり。

### 3、中途退団抑止案 策定にあたって

- 1、得意分野の方針になっているか。(SWOT分析)
- 2、弱いところを研究し、改善して戦う。(同上)
- 3、指導者、団委員など**全員の意思統一**ができて居るか。
- 4、計画も人も完璧はない(直ちに取り組む体制を)
- 5、苦境時にMAXの力が出せるか
- 6、自分に妥協をしない。
- 7、他のまねをしても進展しない。(団の事情が違う)
- 8、定石を破壊して、新しいものの発見を！！

### 4、スカウト退団抑止対策の7つの提案

- 1、スカウトの中途退団をなくすために、**その保護者を抱え込め。**(保護者とのコミュニケーション充実)
- 2、地域の有力者や大人の理解者、仲間を増やせ。
- 3、(自団の)**あるべき姿**をイメージせよ(**ビジョン**など)
- 4、**団経営は実行力。(実践躬行)**
  - ①、主体性を持つ(指示待ちからの変革、自分で考え行動する)
  - ②、**結果を出す事**にこだわる(スカウトの成長等)
  - ③、基本を徹底する(繰り返し行い、継続する)
- 5、**悪い状況からの脱皮**
  - ①、マンネリなど 向上心や危機感の欠如
  - ②、つらい前線からの逃避、離脱。
  - ③、言い訳、うその報告、自分を正当化する執着
  - ④、自分ではできているがしない  
(真逆の行動の徹底に取り組む)
- 6、腹をくくる。(自分だけでも熱を発し、沸騰せよ)
- 7、大義を持つ。  
(錦の御旗があると、人も社会も味方になり応援する)

### 5、中途退団抑止に関する新藤の考え

- 1、団委員長&隊長などキーマンがスカウト運動のスペシャルセンスを修得する。実修所を終了すると、全てわかった気になっているがまだスタートラインである。
- 2、またキーマンはマネージメントセンス&コモンセンスについても管理者として確り勉強して欲しい(人間性 ①)
- 3、辞めるリーダーはリーダー同士の連携不足が多い。
- 4、魅力あるプログラムは班やリーダーの会議等でスカウトや指導者の意見を結集し有効なプログラムを作る。
- 5、保護者が子供をスカウト活動にいらした狙いは何か
  - ・子供の成長について**隊長とのコミュニケーションを！**
  - ・活動に参加させている親の意見が新規加入に役立つ**母親満足度の向上**を図り、活動の継続性を！！
- 6、まずやってみること(実行力が大切)